

■ 教科の目標

- 1 運動に親しみ、自らの運動課題を自ら意欲的に解決しようとする資質や能力を育てる。
- 2 健康の保持増進に関する知識を身につけ、自らの生活において適切に実践するための基礎を育成する。
- 3 競争や共同の経験を通して、互いに協力し、健康で安全な生活を営む実践力およびたくましい心身を育てる。

■ 評価の観点

- 1 欠席や見学がなく、服装を整え、進んで運動しようとする。
- 2 運動の課題の解決を目指して考え工夫している。
- 3 運動に必要な技能や体力を身につけている。
- 4 運動や健康・安全についての知識を身につけている。

■ 評価の方法

- 知識 技能
 - ・期末テスト
 - ・ルールや運動の技能構造説明、審判などを中心に、総合的に評価
 - ・基礎、基本的なスキルテスト、観察
 - ・高度な技や技能の実技テスト
- 思考・判断・表現
 - ・学習資料の活用と学習カードの記入
 - ・ペア、グループ等の活動の様子
- 主体的に学習に取り組む態度
 - ・見学や欠席の状況(服装、忘れ物、準備や片づけ)
 - ・授業へ取り組む意欲(かけ声、運動量、学習カードの活用)

■ 特色のある学習方法

- 学習領域や学習種目の選択
- 課題解決学習の導入
- ペア、グループ学習の活用
- 学校行事の位置づけ

	学習すること	学習のねらい
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○体育理論 ○体づくり運動(体力テスト) ○球技Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ○水泳 <ul style="list-style-type: none"> ・クロール、平泳ぎ ・背泳ぎ ○保健 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動と体や心の動きの関わりを理解する。 ・人数や活動場所に合った体ほぐしの運動を工夫し、仲間と協力し楽しみながら運動の重要性を理解する。 ・基本的技能を身につけ簡単なルールでゲームができる。 ・自己の能力に適した課題を持って多くの種目で100m以上泳げる。 ・心身の発達についての知識を、今後の生活にいかすことができる。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技Ⅰ <ul style="list-style-type: none"> ・短距離走 ・リレー ○器械運動 <ul style="list-style-type: none"> ・マット ○ダンス ○武道 ○体づくり運動 ○保健 	<ul style="list-style-type: none"> 短距離走やリレーの技能構造を理解し、自己の目標を設定して、目当てを持って自主的な学習を行い、効率のよい運動実践で記録の更新を目指す。 ・できる技をよりよくできるようにするとともに、自分ができそうな技を選んで練習できる。 ・身体を動かして表現運動の楽しさを味わい、テーマからイメージした表したい感じを、身体全体を使って表現できる。 ・技を組み合わせ連続して行い、できばえをお互いに評価し合える。 ・柔道の特性を十分に理解し、礼法および基本動作を身につける。 ・自己の体力(持久力)を高めるための運動課題を考え実践し、今後の生活に生かすことができる。 ・心の健康についての知識を、今後の生活に生かすことができる。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ○球技Ⅱ <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー ○球技Ⅲ <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール ○保健 ○体づくり運動 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的技能を身につけ簡単なルールでゲームができる。 ・健康な生活と病気の予防 ・人数や活動場所に合った体ほぐしの運動を工夫し、仲間と協力し楽しみながら運動の重要性を理解する。

